

「関屋俊彦・新潟の風景」

会期 2014 年 8 月 30 日（土）～ 11 月 3 日（月・祝）

洋画家・関屋俊彦が見つめ続けた新潟の風景を、油彩やパステル画などによりご紹介します。関屋は、生涯にわたって新潟を拠点として活動し、新潟の風景を数多く描きました。

今回の展示では、新潟を描いた風景画とともに、関屋をより深く理解していただくために、ヨーロッパの旅の中からスペインの風景を描いた『コルドバの馬車』や、コラージュ作品『コンポジション』もご覧いただきます。

関屋俊彦（1912-2007）

新潟市に生まれる。竹谷富士雄、猪熊弦一郎に師事。1945 年、第 1 回文化祭新潟美術展（現在の新潟県展）で文化奨励賞受賞。1946 年、新制作協会展初入選。1947 年、長井亮之・金子直裕・関屋俊彦三人展を新潟大和で開催（以後 5 回開催）。1949 年、新潟県文化祭美術展無鑑査、参与となる。1953 年、新制作協会展で新作家賞受賞。1973 年、新制作協会会員となる。新潟市美術家協会や新潟県美術家連盟では役員を歴任、名誉会員となる。1998 年、勲五等瑞宝章受章。

作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
コルドバの馬車	1977 年	油彩、カンバス	130.0×162.0
コンポジション	1972 年	油彩・紙、板	76.0×76.0
憧憬・万代橋 3	1954 年～1970 年	水彩、紙	20.0×26.5
憧憬・万代橋 2	1954 年～1970 年	水彩、紙	20.0×26.5
憧憬・万代橋 5	1954 年～1970 年	水彩、紙	20.0×26.5
憧憬・万代橋 7	1954 年～1970 年	水彩、紙	20.0×26.5
スペイン座附近	1961 年	インク・パステル、紙	33.0×45.0
上大川前水門	1948 年	インク・パステル、紙	35.5×45.0
初冬・松浜	1976 年頃	油彩、カンバス	38.0×45.5
漁と漁船 (B)	1961 年	油彩、カンバス	162.0×112.0
漁船のある港風景	1950 年	油彩、カンバス	73.5×91.0
冬の突堤入口	1975 年	パステル、紙	26.0×36.5